

## 四天王寺さんめい苑

昨年度からのスローガンであった『ゼロベース・フルオープンのおさんめい苑』を継承し、さんめい苑のこれまでの経緯を見つめ直し、現状との比較、そこから『今あるべき姿』を職員全員で模索し、法人100周年に向けて、さんめい苑の進むべき道を明らかにしたい。相談支援の充実・強化を含めた地域社会づくり、利用者のニーズへのきめ細かな対応（共生社会と権利擁護）、CSとESを充足する持続可能で質の高いサービスの実現に向けての取組み中において、さんめい苑の職員が共有する価値観をしっかりと持ち合わせ、専門性を高める活動に注力して進む一年としたい。

### ～具体的な事業活動～

#### (1) 様々な視点から『今』を見つめ直す機会の創造

各事業の特性を理解した上で現在の状況をモニターし、慣例化された既存のサービスを様々な観点から見つめ直す機会を設け、持続的経営の健全化を図りながらも、挑戦の志を抱きつつ、BCPも意識して、アフターコロナに適合したサービス提供を検討する。

#### (2) 考察・仮説・実践・検証へのチャレンジ

コミュニケーションこそ私たちの仕事の最重要課題であり、同時に最難関でもある。慣れや経験からの憶測に頼らず、あらゆる観点からご利用者本人の意思を探るための挑戦を実践していく。そのために考察・仮説・実践・検証を具体的に組みつつ、ご家族様や関係者との関わりを深め、ご利用者自身が主人公となる個別支援計画につなげる。

#### (3) 施設の機能整備、地域との関係作り

経年劣化もある施設内を、機能を損なうことのないよう整備すること。また、施設環境が、より効果的に機能できる改革をITC等の導入も検討し、環境とその機能を高めたい。

近隣との交流を、さんめい苑自らが発信する機会とし、この立地にある福祉施設が、地域に貢献できる機会を創りたい。

### ～改善活動～

#### (1) 安全への取組・環境改善

施設内における事故防止・環境改善等の取組を継続し、安全にサービス提供できることを第一として取り組む。またご利用者にとっても、スタッフにとっても心地よい環境に改善し、一方的な力による関りを無くすよう取り組んでいく。

#### (2) スタッフの『個』の能力アップに資する人財育成

一人一人の得手不得手も踏まえ、活かす人財育成を実践する。仕事の楽しさを実感することを併せ持たせた育成を考え、業務実践の中での成長を促す。